

# 深層水を利用してサクラマスを育てる

## 研究分野

海洋深層水\*1 を利用する

## ねらい

- ・ サクラマス漁獲量が河川環境の悪化等により激減し、野生生物の現状を記録した「県版レッドリスト」の希少種に指定されています。
- ・ このことを踏まえ、本場では海洋深層水（水温約 2～3℃）と地下水（水温約 17℃）との熱交換により調温された飼育水（水温約 12℃）を使用して、サクラマスを発眼卵から親魚まで養成しています。
- ・ 養成した親魚から大量の発眼卵を得ることにより、人工ふ化放流\*2 事業における放流種苗の安定確保を図ることがねらいです。

## 成 果

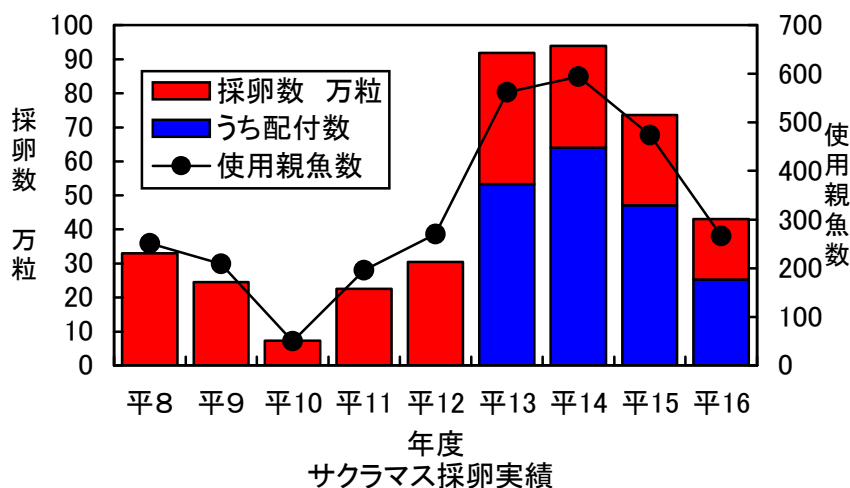
- ・ 海洋深層水を利用することで、夏季の高水温時における飼育が可能となり、卵から親魚まで陸上水槽で飼育できるようになりました。
- ・ 採卵用親魚は、親魚養成開始当初は 200～300 尾しか得られませんでした。しかし、平成 13 年以降は 500 尾程度養成できるようになっています。
- ・ 養成親魚からの採卵数は、当初は 20～30 万粒程度であったものが、平成 13 年には 92 万粒の卵を得ることができ、その後、ばらつきがありますが 40 万粒以上を確保しています。

## 活 用

- ・ 当场で養成した親魚から得られた卵は、県内の漁業協同組合へ配布し、ふ化させ一定期間飼育してから河川に放流しています。
- ・ 今後、採卵量 100 万粒を目指して採卵用親魚の養成を続け、サクラマス資源の回復に努めます。



採卵用親魚養成水槽



### \*1 海洋深層水

水深 300m 以上の深い層に存在する海水のことです。深層水は、窒素やリン酸等の栄養分が豊富で、水温は 1 年を通じて 2～3℃ 以下で安定していること、有機物や細菌類が少なく、きれいなことが特徴です。

### \*2 人工ふ化放流

人工的に卵を取り、ふ化させて、ある程度の大きさに育て放流することです。

研究実施期間 平成 7 年度～

問い合わせ先 富山県水産試験場 (076-475-0036)